

火山活動の歴史

阿蘇くじゅう地域は、27 万年以上にわたって火山活動が続いている場所です。この火山活動によって世界最大級の規模を持つ阿蘇カルデラが形成されました。

このカルデラは、4 回の噴火によってできたと考えられています。最初の 3 回は 27 万年前から 12 万年前に起こり、噴出した火砕流は活動中の火口周辺に台地を形成しました。9 万年前に起こった 4 回目の噴火により、この台地が拡大され、その後の地滑りや陥没などの地形の変化によって空洞となった土地を雨水が満たして巨大な湖となりました。

やがてこの湖の水は立野溪谷を通して流出し、このカルデラは今日の姿になりました。幾千年にもわたる地質活動はこの土地の地形や動植物相を形づくり、また、今日約 5 万人の生活を支えている豊かな土壌を育みました。

阿蘇五岳は根子岳、高岳、中岳、烏帽子岳、杵島岳です。このうち、現在も活動が続いており、時折小規模な噴火を起こすのは中岳のみです。条件が許せば、中岳第一火口にあるエメラルドグリーンの酸の池を見ることができます。